

29岡崎総第3-2号
平成30年2月13日

関係機関の長 殿
関 係 各 位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
生理学研究所長 井 本 敬 二[公印省略]

大学共同利用機関法人自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター
教授の公募について（依頼）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンターでは、この
たび下記の要領で教授を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知についてよろし
くお願いします。

記

1. 公募職種及び人数 教授 1名
2. 任期 任期なし
3. 応募資格 博士の学位を有するか、それに相当する研究業績を有する者

4. 研究内容

岡崎統合バイオサイエンスセンターは、生理学研究所、基礎生物学研究所及び分子科
学研究所が共同してバイオサイエンスの最先端の基礎的研究を展開することを目的と
して設立されました。平成30年4月に改組され、生命創成探究センターが設置される
予定です。生命創成探究センターは、生命構成因子の解析に加えて新しい観点による大
規模な生命情報の計測・観察とともに、構成的アプローチを取り入れて生命システムを
統合的に理解するコミュニティ横断型の異分野融合研究を展開し、開かれた共同利用
を大学・研究機関等に提供していくことを目指しています。

本公募では、哺乳類等を対象とした生命システムの機能の統合的理解につながる研
究を行う者を求めます。なお、本公募の教授は、ヒトのからだと脳の働きの解明を目指
している生理学研究所の教授を兼務していただきます。

5. 教育内容

総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻の担当

6. 就任時期

決定後できる限り早期の着任を希望します。

7. 公募締切

平成30年3月30日（金）（必着）

8. 提出書類（和文または英文）

- (1) 推薦書（同封様式）
- (2) 略歴書（同封様式）
- (3) 業績目録（別紙1により作成のこと。特許があればそれも含めてよい。）
- (4) 主要論文の別刷又はコピー 10編以内 各2部
- (5) 現在までの研究概要と着任後の抱負
（和文の場合；1、500字程度、英文の場合；600語程度）
- (6) その他参考資料（別紙2を参考にして作成のこと。）

※ 様式は次の URL からダウンロード可能です。

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118020588&ln_jor=0

なお、提出書類の返却は原則としていたしません。

9. その他：

- (1) 外国籍研究者の応募も歓迎します。
- (2) 男女共同参画
 - ①生理学研究所は男女共同参画の推進に取り組んでいます。
 - ②生理学研究所は業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
 - ③産前産後休暇・育児休業又は介護休業を取得した場合は、履歴書等にその期間を明記していただければ、それを考慮します。
- (3) 個人情報の取扱い
応募に係る個人情報は個人情報保護法及び本機構規定に基づいて適切に管理し、選考および採用の目的以外には使用いたしません。

10. 送付先及び問い合わせ先

(1) 送付先

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
岡崎統合事務センター 総務部総務課人事係
「岡崎統合バイオサイエンスセンター教授 応募書類在中」と朱書きし、
簡易書留で送付すること。

(2) 問い合わせ先

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合バイオサイエンスセンター（生理学研究所）教授 富永 真琴
電話：0564-59-5286
e-mail: tominaga@nips.ac.jp

(給与等処遇に関するを含む)

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

岡崎統合事務センター 総務部総務課人事係

電話：0564-55-7113

ホームページ：<http://www.nips.ac.jp/>

推 薦 書

下記のとおり、岡崎統合バイオサイエンスセンター教授の候補者を推薦します。

記

1 被推薦者氏名及び現職

氏 名

現 職

2 推薦理由（記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を添付してください。）

平成 年 月 日

推薦者職・氏名

印

岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授候補者 略歴書

平成 年 月 日 現在

応募研究領域		
応募の職		
ふりがな 氏 名 (旧氏名)		
生年月日		年 月 日 (歳)
学位	種類	(年 月)
	授与機関	



修 学 期 間				学 歴 事 項			
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
在 職 期 間				職 歴 事 項			
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
年 月～ 年 月							
従 事 期 間				職歴以外の研究又は教育歴事項			

年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

従 事 期 間	その他学会活動等に関する事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

現 在 の 所 属 先		
所 属 先 の 住 所		〒
所属の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

自 宅 の 現 住 所		〒
自宅の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

その他参考事項

別 紙 1

〔業績目録の様式〕

- 1 A 4 版用紙を用い、A) 原著論文、B) 総説及び著書の順で記載してください。
- 2 個々の論文、著書については、①著者名（共著者を含め印刷物どおり）、②発表年、③題名、④誌名、⑤巻・頁、（⑥発行所：著書の場合）の順で、発表順に番号を付けて記載してください。

〔記 入 例〕

A) 原著論文

1. Neher E & Sakmann B (1976)
Single-channel currents recorded from membrane of denervated frog muscle fibers.
Nature 260 : 779-802

B) 総説及び著書

1. 日本太郎 (1990)
聴覚の生理的基礎 勝木編 感覚の生理学
P. 51-70 岡崎書院

別 紙 2

〔その他参考資料の様式〕

- A4版用紙を用い、①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演、②国際共同研究の実績、③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の5～10年)、④特許出願・取得状況、⑤その他の順で記載してください。

〔記入例〕

①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

1. 生理太郎 (2000、3)

Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition

The 26th SEIRIKEN International Symposium, "Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition", Okazaki, Japan (invited speaker)

②国際共同研究の実績

1. Human Frontier Science Grant、Research Grant RG-77/95

研究テーマ: Visual pattern recognition by primate neuronal networks

共同研究者: 生理太郎、Darwin C、Yang J

(代表者がある場合は下線を引いて下さい)

研究期間: 1995、6 - 1998、5

③競争的資金からの研究費の獲得状況

1. 戦略的基礎研究推進事業 (科学技術振興事業団)

研究テーマ: 体性感覚における視床-大脳皮質機能連関 (研究代表者)

期間: 1996、4 - 2000、3

研究費総額: 230,000,000 円

④特許出願・取得リスト

1. 生理太郎、薬理次郎

名称 「腎疾患治療剤のスクリーニング法」

出願番号 2003-999999x

国際出願番号 PCT/JP02/99999x (国際公開番号 WO-2003/999999x)

出願人 大和大学

出願日 2001年1月1日

⑤その他

1. 1996年 日本生理学会奨励賞

